

研究課題名	全国原発性肝癌追跡調査
研究の意義・目的	原発性肝癌は気管・気管支および肺がん、胃がんに次ぎ本邦の悪性腫瘍の死亡原因の第3位です。年間約 30,000 人以上が肝癌で死亡すると報告されていますが、一施設での症例は限られています。そのため、治療法の確立に向けて全国の施設が共同でその病態と予後を集積することは極めて重要な課題と考えられます。本研究の目的は全国の肝癌の実態と予後を調査し、肝癌の患者さんの治療および予後改善に役立てることです。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2027 年 12 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2008 年 6 月～2027 年 12 月に大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、原発性肝癌の(診断 or 治療)のため(受診 or 入院)された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、生年月日、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT・MRI・超音波・血管造影画像、治療法、治療効果、治療後の経過など】
試料・情報の他機関への提供	日本肝癌研究会に頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	日本肝癌研究会 会長中島収 研究責任者：日本肝癌研究会追跡調査委員長 工藤正俊 日本肝癌研究会事務局：大阪狭山市大野東377-2近畿大学消化器内科内 日本肝癌研究会施設会員および本研究の趣旨に賛同する医療機関743施設 日本肝癌研究会HP： http://www.nihon-kangan.jp/
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究責任者 河田則文 多施設共同研究の場合 近畿大学医学部内科学講座 消化器内科部門 工藤 正俊
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 (担当者氏名) 打田 佐和子 電話番号：(06) 6645-3905